

「山中湖交流プラザ(仮称)」の建設で 村や地域が、本当に活性化するのでしょうか？

みなさんと一緒に考えてみましょう



1 建設予定地が住民の権利侵害や違法契約により、総額約4億円で東電から買った土地(坪単価は約1万円。但し地役権つきで、しかも損害賠償請求放棄)の売買契約が無効になる可能性が高い。今は、これが一番の問題です。

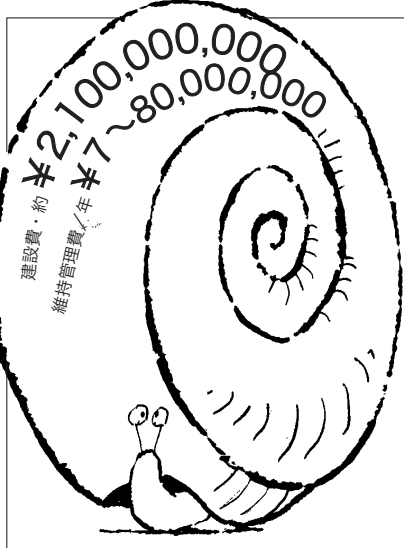
2 20数億円の建設費と毎年7000~8000万円以上の維持管理費がかかる施設を作って、本当に不況脱出の切り札になると考えているのでしょうか？

3 賢明な経営者であれば、投資した資本(お金)がいつ回収でき、いつ利益が出るのか、そのために経費がどのくらいかかるのか？ 損益分岐点はどのくらいか？などを具体的に計算し判断するものです。この判断を誤れば会社は倒産してしまうことだってあります。

立派な家や車が欲しい場合、家が家の収入を基本にして、ローン返済や将来の出費の予定などを考え、毎日の生活を圧迫しないという判断が立てば、新築したり新車を買うことができるでしょう。

新築しても、ローン返済に追われて生活を切詰める(福祉や教育など他の事業への影響)ようでは、かえって将来に深刻な問題が発生します

はたして「山中湖交流プラザ」の収益計画や宿泊客の増加見込みなどの数字的根拠が、発表されているのでしょうか？



4 建設だけでは、一時的に土建業種だけの儲けばかりです。

5 さらに、公平な利用制度も見込まれていません。

樋口は以上の理由で、なんとか集客力アップをという要望は理解できますが、「**実際には法律のおよび財政的に無理であり、将来の具体的課題が解決されていない**」という見解です。

＜村政の例＞

正規のサイズを確保できるグラウンドは、ほとんどありません。これではプレーヤーにとって戦意を喪失ばかりか、山中湖に合宿や練習に来る魅力も半減しかもしれません。

十分なサッカー場などが必要であれば、現在利用できないグラウンドを統合したり、それぞれ、専門家に「民宿自らが持っているグラウンドのクオリティを上げても、相当の集客能力がアップするのではな

いようか。はじめに補助金などを出してもいいのかもしれない。こうした方が、少ない経費で最大の効果を生む方法と考えられます。

さらに、豊かな山中湖村の自然財産への負荷が最小限に食い止められることにもなります。

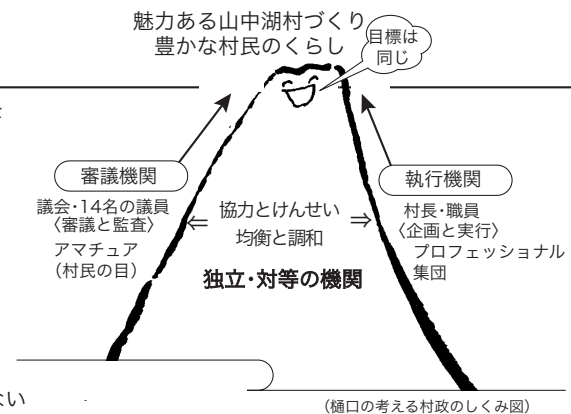
村民みんなで考えれば、もっと良いアイデアが生まれるはずですよ。

ぜひ、みなさんも一緒に考えてください。

「ひぐちの 議会報告会」を 開きました

6月29日
於・旭日丘公民館

- 53人の方々が参集、2時間にわたり熱心に報告を聞いてくださいました。
- 定例・臨時両議会とも流会した理由と内容、議会はもう9月まで開催されないこと。あわせて、右のように議員、執行部とも、本来、より良き村づくりのために働くしくみであることを話しました。
- また、住民訴訟により「村政の執行にあやまりや不正がないかどうか」など司法の判断を仰ぐことは、何らやましいことのない憲法にも保証された権利である旨、説明いたしました。



※山中湖村議会に関する今回の新聞やTVの報道を受け、沢山の方々からはげましのご意見・ご感想をいただきました。

すてきな村づくりは、村民一人一人、それぞれの思いと行動から始まると思います。

※さらにいろいろなお考えを聞かせてください。今後の活動に役立てます。